

紙風船



ありがとう つばさ学年のみなさん
感動的な卒業式でした



前日の雪は何だったんだろう・・・?と思うほどの快晴。3月15日(金)『つばさ学年』9名の卒業式が行われました。卒業生も在校生も涙を拭いながらも、はつらつとした声で歌や呼びかけにそれぞれの思いを込めました。玄関での門送りでは、次のリーダーとなる5年生が、卒業生に感謝のエールを、そして、卒業生から在校生の活躍を祈ってエール返しを、とさらに絆を深めて別れを惜しみました。

卒業式の準備を通して、在校生もずいぶん大きく成長したようです。卒業生からバトンを受け取り、ますます頑張ってくれるにちがいありません。



この一年 みんな みんな 頑張りました

進級おめでとうございます。みんな大きく成長して進級です。修了式や学級の時間に、それぞれの思い出や頑張りを語り合いましたが、まだまだたくさんの成長が見られた一年間でした。担任も通知表にそれぞれの成長を記載していますので、是非子どもさんと一緒にご覧ください。新しい学年でどんなことに挑戦するか、どんなことを頑張りたいか、ご家族で話題にいただければ、子どもたちの“わくわく”もさらに高まることと思います。

修了式 式辞より 抜粋

進級おめでとうございます。

5年生は、6年生を支えたり見習ったりしながら、様々な活動を頑張ってくれました。特に後学期は、どんどん最上級生に近づいてきているなあと思う場面がたくさんありました。

5年生のみなさんは、これからたった9人で全校を引っ張っていくのは大変だと思います。失敗することもあるかもしれません。不安もあると思います。でも、失敗を恐れて挑戦しなかったり、もじもじしているよりだったら、思い切って挑戦してみませんか？それで失敗したら、次のチャンスでまた挑戦してみればいいと思います。たくさん失敗して成長していきましょう。

この間新聞を読んでいたら、6年生が一人だけしかない福島県の学校の記事が載っていました。たった一人の最高学年ですので、担任の先生と二人だけで勉強することがほとんどです。児童会活動は、放送委員や図書委員や保健委員など、たくさんの仕事をリーダーとなって進めなければいけません。その人は、新しいアイデアを出したり、人の先頭に

立って動いたり、人前で話したりするのが苦手だったそうです。ですから、はじめは「自分には向いていないなあ。なんで6年生が一人しかないんだらう」と思っていたそうです。でも、「いやだ」とか「できない」とか言ってもらえません。自分が動かなければ全校児童が困ってしまいます。先生たちに助けをもらいながら計画を立てたり、勇気を出して大きな声で発表したりしているうちに、だんだん苦手でなくなったそうです。そして卒業する頃には「6年生が自分一人しかいなかったおかげで、いろいろなことに挑戦できた」と言えるようになりました。

桧木内小学校の5年生は9人もいます。たった一人で全部やるものではありません。友達と協力したり分担したりして、「みんながリーダー」という気持ちで頑張ってもらいたいと思います。そして助けてくれる4年生もいます。3年生も、2年生も、1年生も、自分ができることを見つけ、5年生を助けてくれると思います。

それぞれの学年がこの一年間、大きく成長したと思います。みんな本当によく頑張ったと思います。それでは、春休み中、事故のないように。そして新しい学年になった自分の姿を頭に描いて過ごしてください。



ひのきっこの活躍

- ☆秋田県児童生徒美術展
話題作 Z. さん
- ☆非行防止・健全育成標語
優良賞 K. さん
- ☆大曲仙北小中学校スキー大会
3年2Kmクラシカル
第3位 S. さん
- ☆全国ホップス卓球大会秋田県予選会
第3位 S. さん

- ☆平成30年度秋田県卓球ランキング
ホップス男子シングルス
第8位 A. さん
- ☆書友社全県書き初め展
金賞 M. さん、I. さん
銀賞 K. さん、S. さん、A. さん
S. さん
銅賞 K. さん、S. さん、Z. さん

来年度も、子どもたちがキラッと輝けるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いたします。